HP版学校だより5月号

みずほっ子

名古屋市立瑞穂小学校

令和7年4月28日

授業参観を終えて

22日(金)に授業参観が行われ、多くの保護者の方にお子さんや学級の様子を見ていただきました。子どもたちは、保護者の方に見てもらえるということで、いつも以上に張り切って授業に取り組んでいました。少し緊張していた様子もありましたが、子どもたちの頑張る姿を見ていただけたと思います。

『学び合い』の授業を取り入れた学習を進めています。

『学び合い』とは…子ども同士で教え合い、学び合い、自発的に学習していく授業。 子ども達は、課題達成のために、他の子ども達に分からないところを聞いたり、また、分からない子に教えたりして、「全員が課題を達成すること」を目指します。

【参考・引用文献】西川純(2012)『学び合い』ステップアップ

これまでの一斉授業では、「分からないけれど、聞けない。」と学びが止まってしまう場面がありましたが、子ども同士で教え合うことで、「分からないから、すぐ

に聞いた方がいいな。」「ヒントをもらって、少し分かったから続きは一人で考えよう。」「分かったことを、分からない子に教えてあげよう。」と自律的に学んだり、自分の学びを調整したりする姿を目指していきます。そして、教師が課題を提示したり的確に助言したりすることで、さらに子どもの学びを充実させたいと思います。



※画像はイメージです(使用許諾済)

新しい学年が始まり、間もなく一か月がたとうとしています。大型連休で十分休養を取っていただき、暑さも増してくる5月を乗り切ってほしいと思います。

家族で防災について話し合ってみましょう

災害は、保護者が側にいるときに起こるとは限りません。子どもたちもいざという時には、「自分の命は、自分で守る」ことができるように、「マイ・タイムライン」について考えておく必要があります。



「マイ・タイムライン」について

マイ・タイムラインとは、災害から自分の命を守るため、「いざというとき」に慌てることがないよう、避難に備えた具体的な行動(いつ、何をするとよいのか等)を、一人一人があらかじめ決めておくもの。マイ・タイムラインを意識して、家族と一緒に日頃から避難行動について考えておくことが大切です。

他にも、話し合うためのテーマの例を下に紹介します。お時間のある時にご家族 で話題にしていただければと思います。

- 地震に備えて、家の安全チェック。 (家具の固定やガラスの飛散防止など)
- 災害が起きたときどうする? (避難場所や家族との連絡方法、離れ離れになった時の集合場所など)
- 避難するときの持ち出し品は?(日用品や食料、飲料、持ち出し品の保管場所など)

みずほっ子 HP版学校だより特別号

名古屋市立瑞穂小学校

令和7年4月17日

瑞穂小教育「じぶんらしく いっしんに」

本校では、「知・徳・体の調和のとれた健全で自律した児童の育成」を目指しています。

「知」は学びの力、「徳」は思いやりや道徳心、「体」は健康な心と体を表します。こ の3つを大切にしながら、子どもたちが将来、自分らしく生きる力を育んでいきたいと

考えています。そのために、学習の場面では、自律し て学び続ける子どもの育成を目指し、教師の適切な 指導のもと「一人一人に合った学習」「学びたいこと を追究する学習」「自分のペースで学ぶ時間」を積極 的に取り入れます。今年度も、学年内教科担任制を継 続します。担任だけではなく、より多くの職員で子ど もたちに関わり、お子さん一人一人を丁寧に理解し、 支えていけるよう努めていきます。



また、日々の授業だけでなく、学校行事や友達との関わりでも、自分らしく生きる力 を育てることを意識して取り組んでいきます。

自律して学び続け、自分らしく生きる力を育てる瑞穂小教育を表すキーワードを 「**じぶんらしく いっしんに**」としました。「いっしんに」はもちろん、校訓の「いっしんに」 です。このキーワードには、伝統ある校訓を大切にしながら、自分らしく、幸せに生き ていってほしいという願いを込めました。

保護者の皆様と力を合わせながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思います。 今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

全国小学校理科研究協議会研究大会(全小理愛知大会)

令和7年11月21日(金)に本校を会場として全小理愛知大会が開催されます。全 国の理科教育関係者に向け、理科の授業を公開します。本校の研究主題「問題解決をし ていく楽しさを味わうことができる子どもの育成」を目指して、理科・生活科の授業を 積み重ねています。科学的な問題解決を、主体的で子ども中心の学びによって実現する ことで、理科・生活科での学びが自分らしく生きる力につながるようにします。

キャリアタイムについて

名古屋市立学校では、キャリア教育の時間として、子どもたちが将来の自分を思い描 きながら、「どんな大人になりたいか」「そのために今できることは何か」を考える「キ ャリアタイム」に取り組みます。この時間では、将来の夢や仕事について考えるだけで なく、自分の得意なことや好きなことに気付いたり、友達との関わり方を学んだりする ことも大切にしています。「働くこと」や「自分の未来」を小学生なりに考えることで、 学ぶ意欲や自分らしさを育むことが目的です。

キャリアタイムでどんな力を育成するの?

キャリアタイムで育てる力を、子どもたちにも分かるように、下のような言葉に表しました。



昨年度、本校で実施したアンケートでは、育成を目指す力のうち、以下の力に課題があること が分かりました。

「自分のよさに気付くこと」「自分らしさを大切にすること」(自己理解・自己管理能力) 「知りたいことがあるとき、自ら進んで調べたり質問したりすること」(課題対応能力) 「友達と意見が分かれたとき、より妥当な考えを導き出すこと」(キャリアプランニング能力) そこで、各教科・領域において、これらの力を育成するための活動を位置付けていきます。

キャリアタイムでどんなことをするの?

- 問題を見いだし、進んで探究することができる活動を設定します。
- 例 疑問や友達の意見との違いから問題を見いだし、自分で問題設定して追究していく活動
- ② 協働する場面を設定します。
- 例 答えや解決方法が多様で、よりよい解決方法を吟味する活動 答えがないオープンエンドな問題について、議論する活動
- ③ 自他のよさや自分らしさに気付き、将来を思い描く活動を取り入れます。
- 例 関わり方を学ぶエンカウンターの活動
- 例 夢や目標を思い描き、ポスターにまとめて発表する活動